

令和5年度 評価基準

教科	技術・家庭(技術分野)	学年	第1学年
----	-------------	----	------

単元名	月	学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学び取り組む態度
材料と加工の技術	4	①技術を支える工夫・創造 ②夢をかなえるための技術 ③技術の最適化 ④未来を創る問題解決	技術科を勉強することによって ①生活に必要な技術とは何か ②社会における科学技術とは何かを考えるきっかけとする。 ③ものづくりとは何か。 計画→立案(製図)→作業ができる。		3年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。
	5 6 7	ipadの使い方 ①起動からシャットダウンまで ②キーボードの扱い方 ③使用ソフト『Word2007』について 製図 ①キャビネット図…正面図を書き、奥行きを45°傾け、長さを1/2で表す。 立方体、直方体等の立体を手書きとWord2007の「図形描画」機能を使って表す。 ②等角図…水平線を書き、垂直線から30°両方向傾け、全ての辺を実祭の長さの線で表す。 立方体や直方体等の立体を手書きとWord2007の「図形描画」機能を使って表す。 ③正投影図(第三角法)…立体を真正面(正面図)、真上(平面図)、真横(側面図)で表すことによって、製作するための図面の基礎(設計)を学ぶ。	ipadの扱い方と諸注意 起動からシャットダウンまで間違いなく出来る。また、取れやすいキーを乱暴に扱わないで操作できる。 キャビネット図によって、立体図を容易に表すことができる。定規・分度器を効果的に使用することが出来る。パソコンでの作図(色分け等)によって、全体像をしっかりとらせることができる。全ての線を実祭の長さの線で表すことにより、更に全体像をとらせることが出来る。また、様々な立体を想像し、書き表すことができる。立体図(キャビネット図、等角図)を三角法で表すことができる。また、更に発展させ、実際に作る物の設計図を三角法で表すことができる。	製作に必要な図の描き方を理解している。・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造するとともに他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。
	8 9 10 11 12	『ポットプレート』の製作 ①けがき…さしがねを使用して材料にデザイン及び切断線を書き入れる。 ②切断…マイタノコで材料の斜線部分を切断する。また、糸のこ盤で曲線部分(デザイン)の切断をする。 ③やすりがけ…材料を万力に固定し、木工用やすりで寸法通りに仕上げる。その後紙やすりで表面仕上げをする。 ④組み立て…木工用ボンドで接着する。はたがねを使用して固定する。 ⑤塗装…刷毛で水性塗料(ニス)による塗装を行う。必ず薄め液(アルコール)を使うこと。 ⑥タイルを貼る…最後にタイルを組み入れて完成 ・材料(木材)の性質と特徴、構造	材料(木材)の性質と特徴、構造について理解できる。 さしがねの使い方(90°の線を書くための材料へのかませ方等)を理解し、作業できる。 マイタノコで斜線45°の切断がきれいに出来る。班で協力し合ってマイタノコを使用することができる。 材料を万力に固定することによって、やすりがけしやすいことを理解出来る。また、表面仕上げをしっかりとやるのが、塗装時の光沢を出すことに関係してくることを理解できる。 頑丈な組み立てをするために、木工用ボンドをつけ後に、はたがねで固定すると効果的であることを理解できる。 何故、水性塗料を使うのか理解出来る。 木目と刷毛の進行方向の関係が理解出来る。また、むらのない塗装方法を理解できる。	材料と加工の技術の最適化について考えている。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
情報に関する技術	1 2 3	・コンピュータの使用上の注意点 ・コンピュータの仕組み ①起動からシャットダウンまで ②キーボードの扱い方 ③使用ソフト『Word2016』 ④キーボードの各キーの働き ⑤文字打ち練習をローマ字変換で			情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。

		行う。 五十音訓・東京23区・都道県名・スポーツ名 等 ⑥『ポットプレートレポート』を作る。作業内容をまとめ、感想や考察をまとめてみる。また、実際に作ったポットプレートを作図によって書いてみる。 ⑦プリントアウト 生活や社会、産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知る。 ・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめる。 ・コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知る。 ・情報のデジタル化の方法をまとめる。 ・画像をデジタル化する方法やデータ量との関係についてまとめる ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。 ・情報通信ネットワークの仕組みについてまとめる。 ・情報通信ネットワークを使って、情報をやりとりする仕組みについて知る。 ・情報の特性について考え、情報が社会に与える影響について調べる。 ・望ましい情報社会のための態度について考える。 ・情報セキュリティを実現するための3つの要素を知る。 ・情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティの重要性について考える。 ・セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステムがあることを知る。 ・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。	情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている 情報セキュリティの基本的な知識について理解している。	身近なシステムや自動化の技術の技術に込められた工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気付くことができる。	情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けようとしている。
--	--	---	---	--	---